

恵庭市地域公共交通計画の策定状況について

1. 策定の目的

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の改正により、「地域公共交通計画」の策定が努力義務化されたことから、現行計画（地域公共交通総合連携計画）を見直し、令和6年度を初年度とする「恵庭市地域公共交通計画」の策定を行い、地域にとって望ましい公共交通の姿を明らかにする。

2. 実施内容

令和4年度及び5年度に実施した市民アンケートや各種基礎調査のほか、運行事業者からの意見などに基づき、公共交通の現状や利用者のニーズ及び課題の分析・整理を行い、地域公共交通活性化協議会による議論を経て、地域公共交通計画を取りまとめるとともに、必要に応じ、エコバス・エコタクのルートやダイヤ・料金等の検証・見直しを行う。

3. 各種調査等に基づく市民ニーズ・課題

①市民アンケート

実施期間：令和5年2月2日～令和5年2月20日

配布数：6,000 有効回収数：1,391 回収率：23.2%

○運賃：「満足・やや満足」といった評価が高い

○所要時間・快適さ・わかりやすさ：

「満足・やや満足」が比較的高い評価となっている

○運行時間・本数：

「不満・やや不満」といった割合が高く、評価が低くなっている

○エコバス未利用者の将来のエコバスの利用について：

「当面はエコバスを利用する予定がない」とした回答が約7割を占めているが、「エコバスが便利になった場合、利用を検討したい」とする回答が2割を超えており、年代が上がるにつれて検討したいとした割合は高くなっている。

②市民からの意見等

○路線改編後に個人から直接市へ寄せられた要望は52件

○目的地までの所要時間が長くなり病院や施設まで通いづらくなったという「運行ルート」に関することや、自宅から停留所までの距離があるという「停留所の位置」などに関する意見が多かった

③学生アンケート

実施期間：令和5年7月24日～令和5年8月25日

対象学生数：4,868 有効回収数：351 回収率：7.2%

○エコバスを利用する学生：

市外からの通学が多く、JRから徒歩や自転車・徒歩による通学が多く利用者は2.3%と少ない。積雪時期は利用者が8.9%に増加している。

○利用満足度：

「満足・やや満足」が約50%、「不満・やや不満」が約20%となっており、一定の評価があった

○エコバスを利用しない学生：

エコバスを利用しない理由は、徒歩や自転車による通学ができることによりエコバスの利用が不要であるとの回答が多く占める一方で、利用できる停留所がないことや、便数が少なく時間帯が合わない、運賃が高いとの回答があった。

○日常生活でのエコバスの利用：

通学以外での日常生活でのエコバス利用者は全体の約8%となっており、利用頻度も月1回程度、年に数回が多い結果となっており、日常生活におけるエコバスの利用は少なかった。

○その他意見：

- ・運賃（無料、学生割引、安くしてほしい）に関する事
- ・アクセス（駅からの直行便）に関する事
- ・ダイヤ（授業時間に合わせたバス発着時刻、待ち時間の縮小）に関する事

④運行事業者からの意見や課題

- 運行体制に係る労務管理
- 運転手の確保
- 走行距離やバス停間の間隔に伴う車両への負荷等
- 市民ニーズとの整合性を図った運行体制の構築

4. スケジュール（予定）

日程		内容
令和5年	6月	第1回協議会（実施内容の確認）
	7月	第2回協議会（委託事業者の審査委員について）
	8月	学生アンケートの実施
	10月	第3回協議会（検討項目の協議・スケジュールの確認）
	12月	第4回協議会（計画（素案）作成・協議）
令和6年	2月	第5回協議会（計画（案）作成・協議）
	3月	パブリックコメントの実施
	6月	計画策定